

# 製品安全データシート

作成日：2011年03月18日

改訂日：2025年04月02日

確認日：2025年04月02日

1. 化学品及び会社情報	
製品名 供給者の会社名称、住所及び電話番号  緊急連絡電話番号 推奨用途 使用上の制限	セルパック DCL シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651 2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 TEL：(078) 991-1911 臨床検査測定用 推奨用途以外への使用は禁止する
2. 危険有害性の要約	
化学品の GHS 分類 物理化学的危険性 健康に対する有害性 環境に対する有害性 GHS ラベル要素 絵表示 注意喚起語 危険有害性情報 注意書き 安全対策 応急措置 保管 廃棄 GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の有害危険性	区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 情報なし
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別 成分の化学名 濃度又は濃度範囲 CAS 番号 化審法 官報整理番号 安衛法 官報整理番号	混合物（水溶液） 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない
4. 応急措置	
必要な応急処置の説明	

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	直ちに多量の水で15～20分以上眼を洗う。直ちに医師の手当て診断を受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺火災に応じて適切な消火剤（水）を用いる
使ってはならない消火剤	なし
火災時の特有の危険有害性	なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、周辺火災に応じて空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。作業者は適切な保護具（8. 暴露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	乾燥砂、オガクズ、ウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。
二次災害の防止策	情報なし

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱注意事項	眼、皮膚との接触を避けること。飲み込みを避けること。取扱い後はよく手を洗うこと。
衛生対策	情報なし
保管	
安全な保管条件	2～35°Cで直射日光・粉塵等を避けて保管する。天地無用。
安全な容器包装材料	密閉式の破損しないものに入れる。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	
日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	情報なし

設備対策	空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。工程で蒸気、ヒューム、ミスト、粉じんが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。
手・皮膚の保護具	適切な手袋（ゴム）を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。
眼、顔面の保護具	適切な保護眼鏡を着用すること。
特別な注意事項	情報なし

## 9.物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色～淡黄色澄明
臭い	なし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	約 100℃
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	不燃性
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7.8
動粘性率	データなし
溶解度	水に可溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.003 (20/4℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし

## 10.安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	データ不足のため分類できない。
経口	データ不足のため分類できない。
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
その他の情報	情報なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
水生環境有害性、短期(急性)	情報なし
水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし

## 13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
付着している汚染容器及び包装	内容物を除去した後、法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
航空規制情報（ICAO/IATA）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当

海上規制情報 (IMO)	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類 (危険有害性クラス)	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	情報なし
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	情報なし
国内規制	
航空規制情報	輸送危険物には該当しない
海上規制情報	輸送危険物には該当しない
陸上規制情報	輸送危険物には該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。天地無用。
<b>15. 適用法令</b>	
薬機法	非該当
安衛法	非該当
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 揮発性有機化合物の特別税法	非該当
<b>16. その他の情報</b>	
その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
略語	化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
データの主要な文献参照と出典	NITE GHS 分類公表データ